



報道関係者 各位

### 新型インフルエンザ患者が集中治療室において 人工呼吸器を装着した症例について

9月30日、大阪府より、新型インフルエンザ患者が集中治療室において人工呼吸器を装着した症例について、別添の通り情報提供がございましたので、お知らせいたします。

なお、患者の個人情報については、特段のご配慮をお願いいたします。

平成21年9月30日(水)午後2時提供

連絡先	大阪府新型インフルエンザ対策本部事務局 健康医療部 保健医療室 地域保健感染症課 感染症グループ 担当：大庭、富田
代表	06-6941-0351
内線	2542
直通	06-6942-9888

新型インフルエンザ患者が集中治療室において人工呼吸器を装着した症例が確認されたのでお知らせします。

【患者概要】

年齢：51歳、性別：男性、住所地：吹田市  
(基礎疾患の有無は確認できていません)

【経緯】

- 9月22日 発熱、咳症状あり。
- 24日 発熱38.3度、咳、悪寒症状あり、  
迅速簡易キットA(+)、解熱剤投与。
- 29日 意識障害・呼吸障害の症状あり、救急車で府内病院に入院  
迅速簡易キットA(-)。集中治療室にて治療、人工呼吸器装着  
ウィルス性肺炎あり、タミフル投与。
- 30日 午後1時頃、府立公衆衛生研究所によるPCR検査により新型インフルエンザの感染を確認。

\* 本件は、平成21年8月25日付け厚生労働省新型インフルエンザ対策推進本部事務局事務連絡「新型インフルエンザ(A/H1N1)に係る今後のサーベイランス体制について」に基づき、新型インフルエンザ患者が集中治療室に入室し、人工呼吸器を使用していることから、厚生労働省と連携して公表するものです。